

## 教員研究業績一覧 (2018.4.1～2019.3.31)

研究業績の種類と分類番号については、下記の表のようになっています。

A	書籍	書名・訳書名(原著者名) (単著・共著・分担・編著・監修等)	出版社名・頁	年月日
B	研究論文	論文題目・副題 (単独・共著・学術雑誌・紀要・報告書等)	誌名・巻・号・頁	年月日
C	作品・演奏・ 展覧会・発表会・ 競技会等	発表題目(作品種別・大きさ等)	発表会名(会場)	年月日
		曲名(演奏・作曲・指揮等)	演奏会名(会場)	年月日
		種目(順位・記録等)	競技会名(会場)	年月日

### 発達教育学部

#### 安藤 則夫

- B 1 英語教育における学習スタイルと適合性－英語教育に対する大学生の適合感と好感度，効力感に基づく検討－(共著)．安藤則夫，長谷川修治 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.17-28 2019年3月31日
- B 2 素材の豊富さと保育者を目指す学生の発想の関連について－「あとりえ」活用の授業実践とその意義の考察－(共著)．安藤則夫，植草一世，園川緑 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.101-110 2019年3月31日

#### 遠藤 隆志

- B 1 Hand Dexterity Impairment in Patients with Cervical Myelopathy: A New Quantitative Assessment Using a Natural Prehension Movement. Masao Omori, Satoshi Shibuya, Tsuyoshi Nakajima, Takashi Endoh, Shinya Suzuki, Shun Irie, Ryohei Ariyasu, Satoshi Unenaka, Hideto Sano, Kazutaka Igarashi, Shoichi Ichimura, Yukari Ohki. Behavioural Neurology. 5138234 2018
- B 2 「障害のある子どものICT活用」の授業科目新設によるICT活用可能な教員養成の取り組み－植草学園大学での教員養成におけるICT活用の可能性I－(共著)．加藤悦子，内田義人，飯島千恵子，遠藤隆志 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.77-88 2019年3月31日

#### 加藤 悦子

- A 1 発達障害白書2019年度版(共著)．日本発達障害連盟編 明石書店 2018年9月1日
- B 1 「障害のある子どものICT活用」の授業科目新設によるICT活用可能な教員養成の取り組み－植草学園大学での教員養成におけるICT活用の可能性I－(共著)．加藤悦子，内田義人，飯島千恵子，遠藤隆志 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.77-88 2019年3月31日

#### 金子 功一

- B 1 大学におけるピア・サポート活動の実践と課題－地域展開に対して大学としてどのような貢献ができるか－(共著)．栗原ひとみ，古川繁子，金子功一 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.89-99 2019年3月31日

## 川端 眞由美

- A 1 音楽辞典 人名 (分担) 音楽之友社 2019年3月
- C 1 縄文オペラ《加曾利貝塚物語》(メインテーマ作曲・ピアノ演奏). 若葉区地域活性化助成事業  
発表会 植草学園 Mスタジオ 2018年9月20日
- C 2 縄文オペラ《加曾利貝塚物語》初演 (台本作成・音楽作曲・芸術監督). 桜木小学校体育館 (300名)  
2019年2月7日

## 菊地 一文

- A 1 知的障害教育におけるカリキュラム・マネジメント (分担). 丹野哲也・武富博文編著, 丹野哲也,  
武富博文, 菊地一文, 他 東洋館出版社 pp.98-101 2017年5月28日
- A 2 平成29年度版特別支援学校新学習指導要領ポイント総整理 (編著). 全日本特別支援教育研究連  
盟編著, 丹野哲也, 名古屋恒彦, 菊地一文, 他 東洋館出版社 2018年10月25日
- A 3 キャリア発達支援研究5 未来をデザインし可能性を引き出すキャリア発達支援 (編著). 森脇勤,  
木村宣孝, 菊地一文, 他 ジアース教育新社 2017年12月13日
- A 4 アクティベート教育学「特別支援教育」(分担). 廣瀬由美子・石塚謙二編著, 廣瀬由美子, 石塚謙二,  
菊地一文, 他 ミネルヴァ書房 (印刷中)
- A 5 特別支援学級・通級による指導ハンドブック (分担). 田中裕一監修, 全国特別支援学級設置校長  
協会編著, 山中ともえ, 宮崎英憲, 明官茂, 菊地一文, 他 東洋館出版社 (印刷中)
- B 1 自閉症の方言使用に関する事例的検討—学齢期・青年期に方言使用が見られた5事例について—(共  
著). 松本敏治, 菊地一文 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.5-15 2019年3月31日

## 栗原 ひとみ

- A 1 保育実践から学ぶ保育内容「人間関係」(改訂版)(共著). 咲間まり子, 栗原ひとみ, 他 株式会  
社みらい pp.46-58 2018年3月31日
- A 2 保育者のスキルアップのために—保育カウンセリングの理論と技法を学ぶ(共著). 諸富祥彦, 大  
竹直子, 栗原ひとみ 誠信書房 pp.0-0 2019年3月31日 (印刷中)
- B 1 次世代を担う子どもたちの保育に寄与する植草学園大学保育者養成—園長先生が本学に期待するこ  
と—(単著). 栗原ひとみ 少子・超高齢化社会における活力あるコミュニティの形成研究—保育・  
教育・保健医療との有機的繋がりを軸として— 2017年度植草学園大学研究ブランディング事業  
研究成果第1次報告書 (研究代表 高野良子) pp.12-21 2018年3月31日
- B 2 大学におけるピア・サポート活動の実践と課題—地域展開に対して大学としてどのような貢献がで  
きるか—(共著). 栗原ひとみ, 古川繁子, 金子功一 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.89-99  
2019年3月31日
- B 3 保育現場の地域連携事業—千葉市内の保育所等の実態調査から—(共著). 實川慎子, 高木夏奈子,  
栗原ひとみ, 山田千愛, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.41-51 2019年3月31日
- B 4 園外活動における子どもの発達を促す地域環境—散歩を通した子どもの育ち—(共著). 山田千愛,  
實川慎子, 高木夏奈子, 栗原ひとみ, 高野良子, 小池和子 植草学園大学研究紀要 第11巻  
pp.53-63 2019年3月31日

## 實川 慎子

- A 1 MINERVA はじめて学ぶ保育 乳児保育(共著). 馬場耕一郎(編)大方美香, 佐々本清恵, 鈴木みゆき,  
伊瀬玲奈, 兼重祐子, 岩崎淳子, 本田由衣, 實川慎子 ミネルヴァ書房 pp.52-83 2019年3月 (印

刷中)

- A 2 新しい保育講座 第3巻 子ども理解と援助(共著). 高嶋景子・砂上史子(編) 砂上史子, 高嶋景子, 岸井慶子, 刑部育子, 實川慎子, 久保健太, 平野麻衣子, 今村久美子 ミネルヴァ書房 pp.149-168 2019年3月(印刷中)
- A 3 新・基本保育シリーズ 第9巻 子ども家庭支援の心理学(共著). 白川佳子・福丸由佳(編) 河原紀子, 白川佳子, 吉永安里, 小保方晶子, 荒牧美佐子, 若本純子, 小林 理, 大西真美, 實川慎子, 安藤智子, 塩崎尚美, 福丸由佳, 野坂祐子, 中村由紀子 中央法規出版 pp.101-114 2019年3月1日
- B 1 千葉市内の地域子育て支援関連施設・団体の持つ他職種・他機関ネットワーク(単著). 實川慎子 少子・超高齢化社会における活力あるコミュニティの形成研究—保育・教育・保健医療との有機的繋がりを軸として 2017年度植草学園大学研究ブランディング事業研究成果第1次報告書(研究代表 高野良子) pp.28-40 2018年3月31日
- B 2 保育現場の地域連携事業—千葉市内の保育所等の実態調査から—(共著). 實川慎子, 高木夏奈子, 栗原ひとみ, 山田千愛, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.41-51 2019年3月31日
- B 3 園外活動における子どもの発達を促す地域環境—散歩を通した子どもの育ち—(共著). 山田千愛, 實川慎子, 高木夏奈子, 栗原ひとみ, 高野良子, 小池和子 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.53-63 2019年3月31日

#### 高木 夏奈子

- B 1 「お手玉」「お手玉歌」を保育で活用するための課題—保育者養成課程在学生の「伝承遊び」経験のアンケート調査から—(単著). 高木夏奈子 少子・超高齢化社会における活力あるコミュニティの形成研究—保育・教育・保健医療との有機的繋がりを軸として 2017年度植草学園大学研究ブランディング事業研究成果第1次報告書(研究代表 高野良子) pp.22-27 2018年3月31日
- B 2 千葉市の一自治区における地域介護予防推進リーダー育成に向けて 第一報—運動と音楽活動を糸口として—(共著). 中野聡子, 高木夏奈子 少子・超高齢化社会における活力あるコミュニティの形成研究—保育・教育・保健医療との有機的繋がりを軸として 2017年度植草学園大学研究ブランディング事業研究成果第1次報告書(研究代表 高野良子) pp.41-46 2018年3月31日
- B 3 保育現場の地域連携事業—千葉市内の保育所等の実態調査から—(共著). 實川慎子, 高木夏奈子, 栗原ひとみ, 山田千愛, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.41-51 2019年3月31日
- B 4 園外活動における子どもの発達を促す地域環境—散歩を通した子どもの育ち—(共著). 山田千愛, 實川慎子, 高木夏奈子, 栗原ひとみ, 高野良子, 小池和子 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.53-63 2019年3月31日
- B 5 音楽と美術と子どもたち—領域「表現」の教科横断的な活動とその基盤としての「身体」—(単著). 高木夏奈子 保育所・幼稚園・こども園の子どもたちと美術館(「アートの日」の本) 徳島の公立美術館と就学前施設との連携事業実行委員会事務局 徳島県立近代美術館 pp.170-175 2019年3月25日

#### 高野 良子

- A 1 少子化と子育て支援. 高野良子 教育社会学事典(共著). 小玉亮子, 天童睦他 日本教育社会学会編 丸善出版(担当項目頁) pp.312-313 2018年1月29日
- A 2 教育の基礎と展開[第二版]—豊かな保育・教育のつながりをめざして—(編著). 高野良子, 武内清他 学文社 pp.1-191 2018年4月10日
- B 1 佐倉藩校の初等教育—東塾・西塾を中心に—(共著). 外山信司, 高野良子 植草学園大学研究紀

要 第11巻 pp.65-75 2019年3月31日

- B 2 保育現場の地域連携事業—千葉市内の保育所等の実態調査から— (共著). 實川慎子, 高木夏奈子, 栗原ひとみ, 山田千愛, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.41-51 2019年3月31日
- B 3 園外活動における子どもの発達を促す地域環境—散歩を通した子どもの育ち— (共著). 山田千愛, 實川慎子, 高木夏奈子, 栗原ひとみ, 高野良子, 小池和子 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.53-63 2019年3月31日
- B 4 2017年度植草学園大学研究ブランディング事業研究成果第1次報告書 少子・超高齢化社会における活力あるコミュニティの形成研究—保育・教育・保健医療との有機的繋がりを軸として— (研究代表 高野良子) pp.1-78 2018年3月31日
- B 5 調査報告書 植草学園大学発達教育学部 調査研究の実践—高野ゼミ V・VI・VII・VIII期生の探究 (共著). 高野良子他, 植草学園大学高野研究室 pp.1-100 2018年4月30日

#### 田所 明房

- A 1 各教科等を合わせた指導ガイドブック 生活単元学習・作業学習の進め方 Q&A (分担). 子ども主体の教育研究会編 ケーアンドエイチ社 第1章第5節 新学習指導要領と作業学習 (p.13) 第1章第7節 新学習指導要領と日常生活の指導 (p.15) 2018年10月
- B 1 生徒主体の作業学習を追求する～教師も生徒とともに働く意義を視点に (共著). 太田俊巳, 田所明房, 平間俊二, 高瀬浩司, 中坪晃一, 高倉誠一 関東学院大学人間環境研究所 第17号 2018年12月1日

#### 名古屋 恒彦

- A 1 アップデート! 各教科等を合わせた指導 (編著). 名古屋恒彦 東洋館出版社 2018年8月5日
- A 2 [平成29年版] 特別支援学校 新学習指導要領ポイント総整理 特別支援教育 (責任編集). 名古屋恒彦, 菊地一文, 井上昌士 東洋館出版社 2018年10月25日

#### 長谷川 修治

- B 1 デジタル英語教材と熟練英語担当教員との指導効果の比較—5年生のリスニング力と情意面に焦点を当てて— (共著). 長谷川修治, 折原俊一, 安藤則夫 日本児童英語教育学会 (JASTEC) 研究紀要 第37号 pp. 119-135 2018年9月
- B 2 An analysis of the vocabulary used in *Oxford Reading Tree*: As a reference for early English education in Japan. Hasegawa, S. *Proceedings of the 4<sup>th</sup> Asia Pacific Corpus Linguistics Conference (APCLC 2018)*, pp. 116-121 2018年9月
- B 3 A diachronic study of small track classes in university (1): Does the students' English proficiency improve? Hasegawa, S., Kuwana, S., & Hojo, Y. 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp. 29-39 2019年3月31日
- B 4 英語教育における学習スタイルと適合性—英語授業に対する大学生の適合感と好感度, 効力感に基づく検討— (共著). 安藤則夫, 長谷川修治 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp. 17-28 2019年3月31日

#### 馬場 彩果

- B 1 大学生の手縫い技能定着に向けた意識調査と実技指導の実践研究—教員養成課程における ICT 活用の試み— (単著). 馬場彩果 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.111-119 2019年3月31日

## 村上 悦子

- A 1 新しい道徳 中学1年生教師用指導書研究編「桜に集う人の思い」(分担). 村上悦子 東京書籍 2019年3月31日
- B 1 学生の指導技術向上を目指した道徳関連授業－「道徳教育指導法」と「実践力養成演習・道徳」を通して－(単著). 村上悦子 千葉大学教職大学院研究報告書 2019年3月31日
- B 2 学部授業における人間関係構築Ⅱ～「人間関係づくりの演習」の授業分析を通して～(共著). 土田雄一, 村上悦子 千葉大学教育学部附属教員養成開発センター教育実践研究 2019年3月31日

## 森高 光広

- B 1 研究ノート「手塚治虫の色彩表現について」(単著). 日本マンガ学会「マンガ研究25号」全14頁 2019年3月31日
- B 2 実践研究「「読書感想画」の教育現場における具体的指導法に関する研究」(単著). 日本学校図書館学会誌「学校図書館研究21号」全14頁 2019年3月31日
- B 3 研究ノート「幼・保学生対象の授業の試み ～パペット制作による主体的な学びの育成」(単著). 全4頁 大学造形美術研究17号 2019年3月31日

## 山田 千愛

- A 1 おたより・連絡帳文例126付き 0～6歳よくわかる子どもの発達と保育の本(共著). 磯村陸子, 波多野名奈, 古林ゆり, 山田千愛 池田書店 2019年1月25日
- B 1 園外活動における子どもの発達を促す地域環境－散歩を通した子どもの育ち－(共著). 山田千愛, 實川慎子, 高木夏奈子, 栗原ひとみ, 高野良子, 小池和子 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.53-63 2019年3月31日
- B 2 保育現場の地域連携事業－千葉市内の保育所等の実態調査から－(共著). 實川慎子, 高木夏奈子, 栗原ひとみ, 山田千愛, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第11巻 pp.41-51 2019年3月31日

## 保健医療学部

### 上倉 将太

- B 1 Effects of Reach Balance Exercise on Toe Grip Strength and Balance in College Basketball Players. Shota Kamikura, Keishoku Sakuraba, Tatsuhiro Miura. Progress in Rehabilitation Medicine, Vol.3, pp.1-9, 2018

### 倉山 太一

- B 1 Influence of peripheral magnetic stimulation of soleus muscle on H and M waves. Matsuda T, Kurayama T, Tagami M, Fujino Y, Manji A, Kusumoto Y, Amimoto K. The Journal of Physical Therapy Science. 30(5): 716-718. 2018.
- B 2 携帯端末を利用した日中起立・着座回数モニタリングソフトウェアの試作(共著). 倉山太一, 小宮全. LIFE2018(日本生活支援工学学会)講演論文集. pp.522-23, 2018

### 桑名 俊一

- A 1 メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 新版 生理学(編著) 桑名俊一, 荒田晶子 理工図書株式会社 2019年2月15日 第1刷
- B 1 A diachronic study of small track classes in university (1): Does the students' English proficiency improve? S. Hasegawa, S Kuwana, Y. Hojo. B.Edu.Health Sci.UGi Univ. vol.11, 29-39, 2019.

三浦 達浩

- B 1 Effects of Reach Balance Exercise on Toe Grip Strength and Balance in College Basketball Players. Shota Kamikura, Keishoku Sakuraba, Tatsuhiko Miura. Progress in Rehabilitation Medicine, Vol.3, pp.1-9, 2018.

山本 雅哉

- B 1 Intracellular localization of GGA accessory protein p56 in cell lines and central nervous system neurons. T. Uemura, N. Sawada, T. Sakaba, S. Kametaka, M. Yamamoto, S. Waguri. Biomedical Research 39(4) pp.179-187, 2018.